

# 法曹制度改革全体像について

2002年4月16日

平 山 正 剛

## 記

私は、法曹制度検討会（第1回、第2回）において、今後の審議方法に関し意見を述べています。その際、私は、今次の法曹制度改革の全体像につき、検討委員間で共通の認識を得て改革を進める必要があると考え、個別課題の検討事項の審議に先立ち、全体像に関する討議の機会を設けていただくことを提案いたしております。

ここに、私なりに、司法制度改革審議会意見書が示している「法曹制度改革の全体像」を、同意見書のキーワードを中心に配列した簡略な一覧表と図を作成いたしましたので、添付別紙のとおり、討論の参考資料として提出いたします。

以上

# 法曹制度改革全体像

2002年4月16日  
平山正剛

改革の理念	裁判官制度改革	弁護士制度改革	検察官制度改革
<b>高い質</b> (多様で豊かな知識、経験を有する法曹) (国民の目線をもった法曹) (国民に身近な頼りがいのある法曹) (社会生活上の医師たる法曹) (社会の隅々にまで進出し 法の支配を实践する法曹)	法曹人口の大幅拡大		
	法曹養成制度改革(法科大学院=日本型ロ-スクール構想)		
<b>国民的基盤に基づく・国民への説明責任</b>	国民の目線を持った裁判官 弁護士任官 裁判官の他職経験 特例判事補制度の廃止 下級審裁判官任命手続の見直し (任命手続きへの国民参加、任命 手続の透明化) 最高裁裁判官任命手続の見直し	国民の目線を持った弁護士 弁護士任官・弁護士任検 裁判官、検察官他職経験の受入れ体制整備 継続研修(倫理・業務)義務化 倫理規定の整備 綱紀・懲戒手続きの整備 社会的責任(公益性)の実践 執務体制の整備(法人化・共同化・専門性強 化) 弁護士の活動領域の拡大(30条改正問題) 報酬の透明化・合理化 個々の弁護士情報の公開 法律相談活動の充実	国民の目線をもった検察官 弁護士任検 検察官の他職経験 専門研修制度
<b>独立性</b> (その地位・職権行使、組織の独立性)	裁判官の人事制度の見直し (透明性・客観性の確保) (報酬の簡素化) 下級審裁判官任命手続の見直し (任命手続の透明化) 最高裁裁判官任命手続の見直し	弁護士自治の実効化 (弁護士会の自律的権能の実効化、倫理規 定の整備、綱紀・懲戒手続の透明化・迅速 化・実効化、倫理教育・研修の強化、苦情処 理の適正化、弁護過誤救済の適正化)	検察庁運営への国民参加 裁判員制度への対応

# 高い質（多様で豊かな知識経験人間性）を有する法曹のための改革

